

WRITING NOTE

学生記者が企画に
参加しました。



特集

本

- ・冬から春、私の一冊
- ・大音星の☆Book Trip

・ レポートの書き方 ・ 日本語ライティング支援室通信

冬から春、

私の一冊

学生記者が
つくりました

冬が明け、春がやって来たというのに寒さの残る今日この頃。そこで、続く寒さを楽しむことのできるオススメの一冊を、大音生や教職員の皆さんに紹介していただきました。心の温まる物語や、じっくり自分と向き合うことのできるストーリー。夢が膨らむ素敵なお話や背筋の凍る超絶ホラー……。あなたのどっっておきの一冊は何ですか？

今回の記者：柴田幸穂（ポピュラーV.O）、風速英里（管楽器Euph）、山下楓（管楽器・Euph）



- サイモンとガーファンクル詩集
Simon & Garfunkel
山本安見 訳・シンコーミュージック

この中に“Old Friends”という詩があります。冬枯れの公園のベンチの両端で、年老いた友人が2人、黙って座っている。その姿は、まるでブックエンドのようにみえる。この詩の一節のように“How terribly strange to be seventy”と思っただけでしたが、随分年月を重ねた今、“strange”でもなくなってきました。この曲のアレンジも素敵ですよ。（福榮宏之 教員）



- 思い出のとき修理します
谷瑞恵・集英社文庫

「過去は変えられないけれど、修復することはできる」誰にでもやり直したい過去の1つや2つがある。そんな思いを抱えた人々が不思議な時計屋さんを訪れることで始まる、どこか懐かしい癒しのストーリー。（内田真子 ポピュラー Gt）



- コンビニたそがれ堂
村山早紀・ポプラ文庫ピュアフル

本当に大切な探しものがある人だけがたどり着き、必ずここで見つけられる、という不思議な魔法のコンビニ「たそがれ堂」が舞台。誰もが覚えのある戸惑いや痛み、矛盾や虚しさを優しく受け止めてくれる物語。（Saki ポピュラー Vo）

冬

- 34丁目の奇跡
ヴァレンタイン・デイヴィス
片岡しのぶ 訳・あすなろ書房



クリスマスのNY。現れたのはサンタクロースを自称する1人の老人。サンタクロースっているんじゃないの？忘れかけた夢をもう一度信じてみたくなる、心温まる小さな奇跡の物語。（丹原勇 ポピュラー Gt）



- マッチウリの少女
アンデルセン 原作
いもとようこ 文・絵
金の星社

真冬の寒空の下マッチを売りに行く少女。力尽き天へと迎え入れられる時、今まで憧れた夢の数々を幻覚ながら経験し、幸せを感じながら最後を迎えた。あなたはそれを喜劇と感じるか、悲劇と感じるか…（Kajitani 管楽器）



- モモ
ミハヤエル・エンデ
大島かおり 訳・岩波少年文庫

「時間どろぼう」という男たちにより時間が盗まれてしまい、みんなは心の余裕を失ってしまった。そんな中、不思議な少女モモが奪われた時間を取り戻しに行くというお話。時間って一体何なのでしょう…。（みっちゃん ポピュラー Vo）

大切なものは？

- 和菓子のアン
坂木司・光文社文庫



和菓子店で働く少女と、和菓子を買いに来る個性なお客さんたちの物語。遊び心に満ちた素敵な和菓子も登場し、思わずおなががすいてしまう青春ストーリー。（ぶるぶる 職員）

甘くて優しい



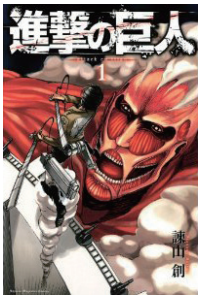
- 卵と小麦粉
それから マドレーヌ
石井睦美・ポプラ文庫ピュアフル

「もう子どもじゃないって思ったときっていつだった？」という少女の言葉から始まる物語。友情や恋、親子の絆。少女の時間を濃密に描いた心温まる作品です。きっとキャラメルマキアートとシナモンロールが頼みたくなるはず！（Elizabeth ポピュラー Vo）

- 世界から猫が消えたなら
川村元氣・マガジンハウス

僕は、生きるために消すことを決めた。一日の命と引き換えに世界から何かを消す。何かが消えたとき、この世界はどのように変わってしまうのか。本当に大切なものは何なのか、深く考えさせられる作品。（もこえ ポピュラー Vo）





諫山創・作 / 講談社

お題
「進撃の巨人」
実写化について

まったり
マンガ座談会

今、大人気のマンガ「進撃の巨人」。圧倒的な力を持つ「巨人」と人類の存亡を賭けた壮絶な戦いが独特の世界観で描かれています。さて、その実写化とは？

ごん(管 Ep)「実写化についてどう思いますか？」

くろ(声楽)「少女マンガとかの現実的な話だと実写化しやすいけど、ファンタジーだと難しいかも…」

ゆん(ピアノ)「巨人はどうするのかなあ。CGにしてもそれなりのクオリティが要求されるけど、日本の映画ってハリウッドに追いついてないじゃないですか。で、ハリウッドで撮影するっていても、アメリカでは身体障がいの表現は良しとされてないので、難しいと思います。巨人で身体障がいの描写に見えるという説がありますよね…。それに、人を食べるってところで、CGと実際の人間を合わせるの難しいと思います」

くろ「うーん…そういう意味ではオール CG とまではいかないかもしれないけど、予算とかってどうなるのかなあ…」

ばや(管 Ep)「立体起動装置もなあ」

ゆん「そうですね…立体起動装置を実際に使って撮影するのは難しいので、カメラワークを使うと思うんです。でも撮影の技術を要求されそう…」

ごん「そうですね…。ところで皆さんはどのキャラクターが好きですか？」

くろ「私はハンジさん。人類の敵である巨人を研究するために、異端ともいえる方法を使って戦う所が格好いいです。ハンジさんの研究が人類の進撃の一つの可能性になることに期待しています。あと、言動が可愛い」

ゆん「私はエレンですね。彼は目標に向かってなら何でもする勢いで突き進んでいくところが格好いい。けどヒロインのミカサの気持ちに気づかない鈍感なところは可愛いかな」

ばや「私はリヴァイ兵長かな。人類最強と呼ばれているけれど、彼が背負っている希望や仲間たちの思いはとても大きくて…。それでもちゃんと仲間たちの思いを理解して戦う姿が深く格好いいです。そもそも私がなんで『進撃の巨人』を好きかっていうと、「巨人がどうして人間だけを襲うのか」などのたくさんの疑問を考察しながら読むのが楽しいからなんです」

ゆん「キャストは流行にのってこの人にするってのはやめてほしいですよね…」

ごん「実写映画、観に行きますか？」

ゆん「アニメは出来がすごく良かったから映画も成功してほしいし、どうなるか楽しみだなあ…」

くろ「予告の映像も楽しみだね」

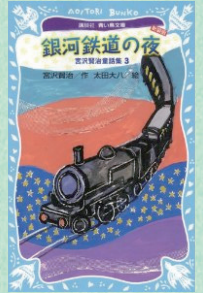
ばや「私も巨人のキャストも気になるし楽しみ！」

参加した皆さん、ありがとうございました！



●セル(上・下)
スティーヴン・キング・白石朗 訳
新潮文庫

ある穏やかな日の3時3分に世界は地獄へと姿を変えた。そのとき携帯電話を使っていた全ての人が一瞬にして怪物へと変貌。人々が怪物になる原因を知ったとき、想像を絶する恐怖にあなたはきっと身震いがするでしょう。(片山大輔 ポピュラー Gt)



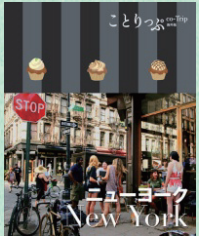
●銀河鉄道の夜
宮沢賢治・講談社 青の鳥文庫

貧しく孤独な少年ジョバンニ。彼は親友であるカムパネルラと銀河鉄道に乗り、美しくも哀しい夜空へと旅をする…(あやたか 管楽器 Cl)



●インドなんて二度と行くか! ポケ!!
さくら剛・アルファポリス

“世間が広がるよ”と言われインドに来た著者。生活に耐えきれず、帰るときには「2度とくるかっ」と思ったのに、それでもやっぱりまた行きたいと思ってしまった…。そんなインドの魅力とは?(I 声楽)



●ことりっぶ
MAPPLE・昭文社

小さくて可愛い、夢が詰まったとっておきの一冊! 旅行の予定がなくても、見ただけで楽しめます。あなたも、いつか行きたい憧れ地のことりっぶを集めてみては?(井上晴賀 ポピュラー V0)

●ビターな人生



●カラフル
森絵都・文春文庫

このお話は、死んでしまった主人公が天国にいたという場面から始まります。記憶はないが新しく人生をやり直せるようになり、苦悩がありながらも「生きがい」を見つけてゆくという物語。(三谷晴佳 声楽)

●憧れ ヴィオラとともに
今井信子・春秋社



ヴィオラ奏者でもあり指導者でもある著者が、たった一つの「音」への足跡を描いたエッセイ本。今在学している皆さんもとても刺激を受ける作品だと思いますよ!(まー 職員)

大音星の★Book Trip

音楽活動ポートフォリオ編

皆さま、こんにちは。大音生ならぬ大音星へようこそ! 私は、案内役の山崎さやか(弦楽器専攻・ハーブ)です。ただ今から地球を出発して、皆さま方には未知なる本の宇宙を巡っていただきます。

今回は、火曜日・一限の「音楽活動ポートフォリオ演習」に参加している星の住人の皆さんです。私を含め全員が大学2年生で、授業では絵を書いたり自分の特技を発表したりしています。この星の旅では住人達からの物語に加えサプライズとしてイラストを添えてくださるそうです。それでは、出発しましょう!

*授業時間と学年は2013年度のものです。



ツアーコンダクター
山崎さやか

オーナーになってみませんか?

『七人の武器屋』

大楽絢太 富士見ファンタジア文庫

紹介者 澤田 信之介
(管楽器専攻・サクソ)



本の内容から想像をふくらませて、登場人物の集合したイラストを描いてくれた澤田君。一人ずつどういった人物かを考えて、描いてくれたからです。この本に出会ったのは高校の時に友達が薦めてくれたからです。この本に登場する主人公と友人はやりたいたいことが見つからず、ただの水道水を伝説の名水と偽って売りさばく商売に日々明け暮れていた。こんな人生でいいのかと疑問に思っていた矢先、武器屋のオーナー募集の広告を見て、怪しく思いながらも応募する。行ってみると応募したのは五人。それも、全員をオーナーにするという。ライトノベルらしい超絶展開の物語です。また、特殊武器が非常にユニークで、水が出てくる槍や一回振る間に三回は振れる剣など。挿絵もとても綺麗なもので、素人のオコサマたちによる武器屋経営の様子を覗いてみてあげてください。

次は、勉強する星です。
では、行きましょう!(汗)



イミって何だ?

『頭の打ちどころが悪かった熊の話』

安東みさえ 理論社

紹介者 稲垣 智誉(声楽専攻)



トラが泣いているところに、旅人が通りかかりました。旅人が、トラに何故泣いているのかと尋ねると、トラは摩訶不思議な答えを返してきました。そういった動物寓話の短編が七編あります。稲垣さんがこの本と出会ったのは、中高の友達が読んでいたからでした。イラストは、この本の題名にもなっているクマが、他の話のキーワードを一つずつ思い浮かべたところだそうです。左上の唇は冒頭で紹介したトラの話のキーワードです。おススメの話は「ないものねだりのカラス」。絵本みたいだけれど、少し気持ち悪くて哲学的なある、とても良い本です。

どうでしたか?
では次は、冒険のできる星に行きましょう!



とらわれない

『禅、シンプル生活のすすめ』

柊野俊明
三笠書房(知的生き方文庫)

紹介者 崔 勝貴
(管楽器専攻・サクソ)



高校3年の9月、受験に追われながらも吹奏楽部の部長としての仕事・その顧問の指導のきつさに耐えて過ごす毎日。地元の駅の本屋さんに立ち寄り偶然見つけたのが、この本でした。「シンプル生活」という題名に目を惹かれたと崔君は話してくれました。自分を変えたくて、この本を読んでいると死に様について考えるというところに強い印象をもったそうです。いつ何が起るか分からない人生だからこそ今を精一杯生きること。そして、やる前から不安を持たず今の事だけを集中することが大事だと、教えてくれた本でした。イラストのロウソクは、もう一つのテーマである「禅」のイメージから取ったそうです。暗闇の中で心を落ち着かせるロウソクの灯と、この本を見て皆さんも自分の生き方をじっくり考え、みてはいかがでしょうか?

では、せつかなのでロウソクの灯りだけで、ご案内させていただきます。
あつ、火が消えた…。



倦怠感が生む 奇怪な世界

『ドグラ・マグラ』

夢野久作
早川書房
(ハヤカワ・ポケット・ミステリー)

紹介者 山元 亮一 (作曲専攻)



精神病院の暗い病室で目を覚まし、自分が一体何者なのかですら思い出せない主人公。とある殺人事件の鍵を握っているといわれ、どんな事件に巻き込まれていく。果して、主人公は思い出すことが出来るのか。三大奇書にも入り、十年近くもかけて書きあげられた夢野久作の遺作『ドグラ・マグラ』。山元君は高校の時にインターネットからこの本のことを知ったそうです。ラストシーンのどんでん返しが面白く、物語がまた、最初の場面に繋がりが何度も読めるというところがおススメ。イラストには、本の巻頭歌を書き主人公の病んだ精神を鉛筆で殴り書きして表したとのこと。話に癖があり少し読みにくいかもしれませんが、インターネットでも無料で読めるので読んでみてください。

青空文庫

<http://www.aozora.gr.jp/cards/000096/card2093.html>

ミスティアスな星でしたね。
電気を付けて、次は昔ながらの
なつかしい星に行きましょう。



ここから、 すべてが 始まった

茅田砂胡作品

茅田砂胡 中央公論新社

紹介者 岡野 天夢 (声楽専攻)



誰もが苦手な読書感想文で、小学5年の時に家の本棚の中から見つけたのが茅田砂胡の『スカレット・ウィザード』と『デルフィニア戦記』だった。岡野さんはそう話してくれました。両作品とも、シリーズものでラプストリー。身長が190センチ以上もある男女が宇宙で戦い、時には喧嘩もして、本当の夫婦として結ばれる。スカレット・シリーズ。とある国からやって来た魔法少女とある事情で国を追放された王様とのロマンス(?) ファンタジー、デルフィニア。登場人物が見せる、輝く瞬間がよく伝わってくるらしい。絵の「ときとき犬」は本を読めば分ると教えてくれました。続編もあり、実はこの両作品は繋がっていたとか…。これらの謎を解きたい方はぜひ読んでみてください。

おつかれさまでした。

それでは地球へワープしましょう！
さよなら大金星！



ごんの 優しさが わかる絵本

『ごんぎつね』

新見南吉 新樹社

紹介者 三好 楓
(管楽器専攻・ホルン)



「ごん、おまえだったのか。いつも、栗をくれたのは…」
そんなセリフを残して幕を閉じる、ごんぎつねの悲しい物語。誰もが必ずと言っていいほど、小学校の教科書で習う定番の作品です。これを選んでくれた三好さんも四年生の時に習ったそうですが、今回、取り上げてくれたのは劇でナレーションをしたとくに印象に残っているからでした。おススメのシーンは、やはり最後の部分で、あまりにもごんが不憫で涙が出てきます。そんな話だからこそ、絵はいたずら好きな感じを表現したと話してくれました。子供がこの世のことを知っていくための学びの本という一面も持っているからこそ、絵本は何かを訴え、教えてくれます。

うさぎ追いかの山♪
しみじみしますね(涙)
それでは、次で最後の星となります。



おかえりなさい！ 皆さんいかがだったでしょうか？ 暗い星から明るい星まで、どれも興味深い星々だったことでしょう。サブライズの方も楽しんでいただけたのなら嬉しいです。さて、今回のツアーに参加してくださった皆様、そしてこの企画にご協力くださった方々にお礼を申し上げます。それでは、最後に私のおススメの星の物語を宣伝します。麒麟や饕餮(とうてつ)といった神獣や怪物が人と混じって暮らす、古代中国に似た異世界。そこで繰り広げられる十二の国の物語。小野不由美の十二国記シリーズ『月の影 海の影』を中国茶でも啜りながら読んでみてくださいね。それでは、*See you again!*



あなただけにそっと教える

レポートの言葉づかひ

～話しことばに気をつけよう～

次の文章を、レポートにふさわしいものに直してください。

「大学で学びたいこと」

私は、この大学に来てイタリア語とか初めて習ったし、まだまだ知らない世界がいっぱいあるから、視野とかを広げたいなあって思った。まわりの人もみんなすごいので、まだまだ練習不足と思った。なので、がんばりたいです。

修整例

私は、この大学に入学して初めてイタリア語を学んだ。そこでまだ知らない世界が数多くあることに気づき、視野を広げたいと思った。また、同級生も演奏が上手であったり、さまざまな舞台経験を持っていたりしていて衝撃を受けた。自分は練習も経験も足りないなので、これから努力したい。

月		日	
学号	姓	名	大宮 花子
科目	成績	評価	X X X
科目名	成績	評価	X X X
(9-4)			
新しいことばについて			
① レッスン			
② ベルギー			
いろいろ ● がんばりたいです			

キヤ
ー
ア
ー
す
ぎ
る



←わるい例

レポートや教育実習の日記など、「提出する」文章では、話しことばが混じらないように気をつけましょう。

日本語には「話しことば」と「書きことば」の区別があり、話しことばは「カジュアル」、書きことばは「フォーマル」という違いがあります。中でも難しいのは、自分で話しことばだと気付かず使ってしまうパターン。

「すごい」「てゆうか」などの若者ことばや、「見れない」「してやる」「のり抜きことば」「や」「抜きことば」「と」「とか」「みたいな」などのあいまいな表現、「やっぱり」「ちょっと」「さっぱり」「さっぱり」「さっぱり」などの口語、「です・ます」体と「だ・である」体の混在などがそれにあてはまります。あなたは大丈夫ですか？

たとえば、演奏会のプログラムに、「今日はご来場とかしていただいてありがとうございます」とは書きませんよね。「本日はご来場いただき、ありがとうございます」と書き、「と」「とか」などのあいまいな表現は避けます。読み手に失礼にならないように、誤解を招く言い方をしないように、文のすみずみまで気を配ること。レポートでも読み手のことを考えて、できるだけきちんとした文章で書きましょう。

こんな「話しことば」を使っていませんか

★ 「ら抜き」「ゆ抜き」

- × 考えれる → ○考えられる
- × 見てる → ○見ている

★ 若者ことば

- × すごい
- × てゆうか
- × やばい

★ 不要なくりかえし

- × まだまだ → ○まだ

★ 口語

- × やっぱり → ○やはり
- × ちょっと → ○少し
- × ～みたいだ → ○～であるようだ
- × たくさん → ○多くの
- × ちょっと → ○少しの
- × いろいろ → ○さまざまな

★ 不要な「…」「！」や小文字「あ」

- × 大きいなあ！と思った。 → ○大きいと思った。
- × ～かもしれない…。 → ○～かもしれない。





あいまい表現 「とか」「SWSWS」

あいまの表現をなくすワザ

① 不要な「とか」を削ります。一つひかなければ削除。二つある場合は「と」に置き換えます。

- × 「夏休みにイタリアとかに行った。」
- 「夏休みにイタリアに行った。」
- 「夏休みにイタリアとドイツに行った。」

レポートでは、事実や意見をはっきりと書かなければなりません。「調べた」なら、○○のような事実とかがあったので、なんとなく○○かなあと思っただけでは、読み手に「○○の他に何の事実があったのか?」「そんなあいまいな根拠で結論を出していいの?」と疑問を持たれてしまいます。「調査したところ○○という事実があったので、○○であると考えた」とはっきり書きましょう。「とか」を使わない! あいまいな文章を書かない、ということです。

② 数が多い場合は「や」「と」「など」を使ってまとめます。「SWSWS」「てまどめてしまふのはNG。数が多いか」と言っても「SWSWS」としてしまふと、何の説明にもならず、それ以上に話題が広がりません。

- × 「ポーランド出身の作曲家はいろいろいる。」
- 「ポーランド出身の作曲家にはショパンとかがいる。」
- × 「ポーランド出身の作曲家にはショパンやバダジェフスカ、シマノフスキなど、多数あげられる。」

「いろいろ」の中身を具体的に説明することで、「ショパンはこんな人、バダジェフスカはこんな人、シマノフスキは…」と話が広がっていきます。



整理不足の文章 「〜たS」「〜た」「〜ん」

整理して書くワザ

① 事柄をあいまにせず、すべて書き出します。

- × 「残念だったのは、難しい曲をあきらめてしまったり、弾けずに終わった曲があることです。」
- 「残念だったのは、技術が追い付かなくて諦めてしまったり、練習の日程を合わせられなかったりして、弾けずに終わった曲があることです。」

② 事柄が多い場合は分類します。「また」「それから」「一方で」「たとえば」「ほとんど」などの語や、「二つ目」「三つ目」などのナンバリング、改行・段落分けなどを活用してまとめましょう。

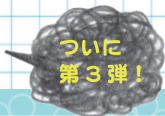
わかりやすい文章を書くためには、文をだらだらと続けないこともポイントです。「今日は宿題をしたり、練習して、ドラマも見て…」これも重要だし、あれもあるし、それも…」というのでは、一番大事なことが埋もれてしまいます。「今日はまず宿題と練習をする。それからドラマだ」「重要なことは三つある。一つ目は…」などと整理した表現を使うと、次にすることが明確になり、レポートでも方向性のはっきりした文章になります。

× 「音楽にはたくさんさんの役割がある。電車が来たことを知らせる音楽とか、音声、道案内、横断歩道で信号が変わったとき、音で知らせてくれたり、また最近では、病院や福祉施設に向いて演奏し、患者・お年寄りの心を和ませる音楽療法という試みも増加している。」

○ 「音楽には多くの役割がある。まずは注意を喚起する役割があげられる。たとえば電車の到着を知らせる音楽や音声、道案内の音声、横断歩道で信号の変化を知らせる音楽などである。それから、人の心を和ませる役割がある。たとえば近年、演奏家が病院や福祉施設に向いて演奏し、患者やお年寄りの心を和ませる音楽療法という試みが増加している。」

日本語ライティング支援室通信

PV講座を開催しました。



撮影編 2013年10月21日(月)・28日(月)
17:00～18:00 F号館434教室

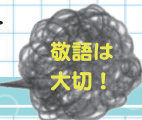
編集編 2013年11月4日(月)・11日(月)
17:00～18:00 K号館118教室

講師：三丸 聡さん
(ビジュアルアーツ専門学校大阪 講師)

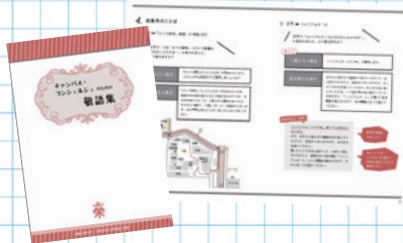


講座では、PV(プロモーションビデオ)とは何か、撮影の基本についてのレクチャーをうけたあと、撮影から編集までを実際に行い、1曲分のPVをつくります。今回の講座では、本学の在学生ユニット「GIANT BABY」の二人に協力してもらい、この二人を魅力的に見せるPVを作ることがミッションでした。撮影編、編集編それぞれの内容をまとめたDVDを日本語ライティング支援室にて貸し出ししています。

キャンパス・コンシェルジュのための敬語講座



大学行事で活躍するキャンパス・コンシェルジュのための敬語講座を入試センターと一緒に開催しました。講座では道案内などの場面を設定し、ロールプレイを行いながらふさわしい敬語を考え、練習しました。この成果は「キャンパス・コンシェルジュのための敬語集」として冊子にまとめています。



↑ キャンパス・コンシェルジュのための敬語集

卒業生トークイベントを開催しました。



第3回 2013年11月29日(金) 17:00～18:00 B号館207教室
講師：中村 春菜さん(電子オルガン 講師)

第4回 2013年12月10日(火) 17:00～18:00 B号館207教室
講師：角南 麻里子さん(チェロ 講師)

卒業生から「音楽講師」の仕事についてお聞きする、「音楽講師、あれこれ」を後期にも開催しました。今回は電子オルガン講師の中村さん、チェロ講師の角南さんにお話いただきました。講演では、一週間のスケジュールから、生徒のニーズにあわせたレッスンづくりの話、自身の演奏活動について、リアルな音楽講師のお話を聞くことができました。学生たちも自分の将来を考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。講演の様子を収めたDVDを日本語ライティング支援室にて貸し出ししています。



学生記者による

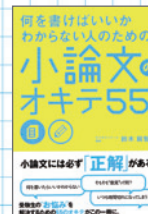
フリーマガジン作り

今号では学生記者さん4人に記事作りに参加してもらいました。

特集記事「私の一冊」は、柴田幸穂さん(短1・ポピュラー)、風速英里さん(大2・管)、山下楓さん(短1・管)が、「大音のBook Trip」は山崎さやかさん(大2・弦)が企画・製作を担当してくれました。(学年は2014年3月時)次号も学生記者さんを募集します。興味のある人は日本語ライティング支援室まで。

おちネタ

本を貸し出ししています



日本語ライティング支援室では、本を貸し出しをしています。最近のおすすめは、ちきりん著『自分のアタマで考えよう』、鈴木鋭智著『何を書けばいいかわからない人のための小論文のオキテ55』の2冊。

最近はこの様な相談がありました。

インターネット上の自分の情報を削除したいのですが…

過去に作成したホームページがあり、個人情報載せていた。ページ自体は削除したがネット上には削除前の情報が残っていて、これを削除したいという相談でした。

これは「ネット上のキャッシュを削除する」という操作が必要ですが、現実的には難しいというのが回答です。

キャッシュとは、表示したウェブページのデータを一時的にコンピューターに保存する機能のこと。Yahoo!などの検索エンジンでも、検索結果表示用の索引を作る際、キャッシュを利用して、ウェブサイトの内容を検索エンジンのデータベースに一時的に保存しています。このようなキャッシュは例外を除き、すぐに消すことができません。

例外は、Googleだとカード番号、口座情報などの重要な個人情報が掲載されているケース。この場合は、削除依頼を送ると対応してくれます。

個人情報でも顔写真や住所など、「さほど重要でない」と見なされてしまふものは、時間が経ってキャッシュが自動的に消えるのを待つしかありません。インターネット上に個人情報を載せる際は、気をつけましょう。



発行日：平成 26 年 3 月 20 日発行

大阪音楽大学 大阪音楽大学短期大学部 日本語ライティング支援室

平成 24 年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」採択事業

H 号館 304 号室（内線 558） 相談受付：月～金 10 時～18 時

メールアドレス：daion304@gmail.com TEL：06-6334-2709（直通）